



INDEX

- ◎ 変わるもの変わらないもの
- ◎ ワンポイント PC テクニック
- ◎ インターネット活用のヒント
SNS を始めましょう
- ◎ 心に響いた言葉
- ◎ あとがき

ごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。いつかはなると戦々恐々としていましたが、ついに年末「痛風」になってしまいました（泣）。歩けないほどの発作では無いのですが、サンダル以外履けません・・・ある意味コロナの弊害でしょうか。病院で診てもらいましたがその日 4 人目とのこと。皆様もお気をつけください。年始はお屠蘇も控えめに、初詣も足を引きずって歩いて氏神の日吉神社へ。商売繁盛はもちろんですが、心から健康祈願してきました。辛いからわかる健康の大切さ。今年は健康第一で頑張ります。

変わるもの変わらないもの



今年は「年賀状納め」「年賀状じまい」とも言われる、「もう、来年から年賀状送らないけどよろしくね」のご連絡を数通いただきました。幼少期からの慣例で年賀状を出してましたが、そもそも年賀状は何故出すようになったのか詳しく知らなかったもので、ちょっと調べて見ました。

発端は 1873 年（明治 6 年）に郵便はがきが誕生し、当時一般的だった年始回りの年の始の挨拶が年賀状へと変わっていったのが始まりのようです。年始回りの替わりとして年賀状は普及していったんですね。戦争によって一時中断しましたが、お年玉付き年賀はがきをキッカケに復活。その後右肩上がり伸び続け 2003 年がピークで 44 億 5936 万枚を発行していたそうです。しかしその後は右肩下がり。2022 年は 59% 減の 18 億 2536 万枚と激減しており、ピークから減少の一途です。

減少の原因

減少の原因は、ご察しの通り携帯メールや SNS、LINE など他のコミュニケーション手段が確立されてきたことと、こちらは実感していませんでしたが、個人情報保護法にあるよう

です。連絡網などもないので、今や子供の友達の住所を知るには本人や両親に聞く以外にありません。会社においても「年賀状を送るから」と若い世代に住所を聞いても煙たがられるケースも多いようです。

プリントゴッコの終焉と iphone の発売

年賀状で思い出させるのがプリントゴッコ。理想科学工業が 1977 年に発売した簡易印刷機です。ネーミングは創業者で社長だった羽山昇氏の「私たちは『ごっこ遊び』を通して社会のルールや生きる力を学んできた。ごっこ遊びこそ、知育の源泉だ」という考え方のもと、自身で名付けたそうです。プリントゴッコが大ヒット商品となり、現在の印刷機「リソグラフ」の発売にもつながっているとのこと。

ちょっと話がそれましたが、年賀状作りのツールとして大ヒットしたプリントゴッコも時代とともに、PC とプリンターに取って代われ、iphone が日本で発売された 2008 年に販売を終了しました。

方法は常に化する

年始回りの形は、訪問での挨拶から、手紙に変わり、電話、メールや SNS と変わってきました。もしかしたら同調圧力によって何十枚、何百枚も年賀状を出していたのが異常だったのかもしれない。今、全盛の SNS もそのうち疲れて「LINE 納め」とかも始まるのかもしれない。

特にチャットツールは即応性が求められる気がするので、疲れてしまう人多そうです。

本来は日頃お世話になっている方々に、感謝や今年もよろしく願いますという気持ちを伝える為の年始回りですから、コミュニケーションの手段は変わっても、感謝の気持ちはきちんと伝えていきたいものです。

ちなみに、私は「風物詩」としても捉えているので、今の所「年賀状納め」の予定はございません。宛名を見て「毎年、今年は飲みましょう！なんていって、何年も会ってないけど、どうしてるかな」とか「あの時は若かったなあ」なんて思いを馳せるのも年末ならではです。

作業効率を上げる

ワンポイント PC テクニック



今日からつけて欲しい、時短を実現する キーボードショートカット 15 選

あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

皆様も既にお使いの物もあるかと思いますが。

昨年末に麻雀で四暗刻を一発自摸した岸がビジネスでの PC 操作に便利なキーボードショートカットを厳選して 15 個ご紹介します。

- 1.Ctrl+C 選択した項目をコピー
- 2.Ctrl+V 選択した項目を貼付け
- 3.Ctrl+X 選択した項目を切り取り
- 4.Ctrl+Z 操作を元に戻す
※あ！やっちゃった！を取り消せます。
- 5.Ctrl+Y 元に戻した操作をやり直す
※4. の操作を更に無かったことにします。

- 6.Ctrl+A すべての項目を選択
※1.Ctrl+C と組み合わせて便利。
- 7.Ctrl+F 検索ボックスを選択する
※特定の文字を探したい時にオヌヌメです。
- 8.Ctrl+P 印刷画面を開く
※試し刷りだけではなく本番にもどうぞ。
- 9.Ctrl+Shift+Esc タスクマネージャを開く
※ブラクラに遭遇したらお試しを。
- 10.Ctrl+Alt+Delete フリーズしてしまったら
- 11.F2 選択項目の名前を変更する
※右クリックしなくて名前を変えられます。
- 12.Windows ログキー++ 拡大鏡を起動
※ちょっと大きくしたい時。-で戻せます。
- 13.Windows ログキー+D デスクトップを表示または非表示に
※背後に誰か来て即時画面を隠したい時・・
- 14.Windows ログキー+E エクスプローラを開く ※繰り返すと幾つも開けます。
- 15.Windows ログキー+V クリップボードを開く ※2.Ctrl+V の拡張版です。貼付け内容を色々選べる優れものです

番外編 IME(日本語入力システム)ショートカット

入力した後、一瞬で変換できます。

- 1.F6 全角ひらがなに変換
- 2.F7 全角カタカナに変換
- 3.F8 半角カタカナに変換
- 4.F9 全角英数字に変換
- 5.F10 半角英数字に変換

他にも数多くのキーボードショートカットが存在します。アプリ特有のショートカットもあります。

ご自分の業務に合ったものをもっと究めたい方は「Windows キーボードショートカット」と検索してみましょう。

(文：岸 信利)

Internet Utilization Tips インターネット利用のヒント

【令和2年度】[平日]インターネットの利用項目別の平均利用時間
(全年代・年代別・男女別)

項目	全年代 (N=3,200)	10代 (N=264)	20代 (N=428)	30代 (N=500)	40代 (N=652)	50代 (N=574)	60代 (N=584)
メールを送信・書く	40.8	18.4	39.6	39.7	44.8	45.4	44.5
ブログやウェブページを見る・書く	24.6	11.7	29.8	31.7	27.9	25.8	15.9
ソーシャルメディアを見る・書く	37.9	72.3	84.6	40.9	27.5	20.1	12.9
動画配信・共有サービスを見る	38.7	90.2	73.6	35.0	26.7	22.1	20.3
VODを見る	11.3	17.1	18.1	13.5	13.3	5.9	4.4
オンラインゲーム・ソーシャルゲームをする	18.0	37.2	32.0	18.5	18.5	9.2	5.7
ネット通話を使う	3.8	8.6	7.9	2.9	2.1	1.3	3.5

そろそろ SNS 始めましょう

皆様スマホをお持ちかとおもいますが、どんなアプリを一番利用されていますか？総務省の「令和2年度情報通信メディアの利用時間と情報行動に関する調査報告書」によると、どの年代でも「ブログやウェブサイトを見る・書く」の時間と「ソーシャルメディアを見る・書く」の時間が同等かそれ以上になっています。ネットの利用時間自体が増えているので、ウェブサイトを見なくなった訳ではなく、SNS も見るようになったのかもしれませんが。いずれにせよ、企業利用としても SNS を無視できない状況になっています。

そこで、今回は SNS 運用開始をおすすめするとともに、よくある懸念点についてお答えしたいと思います。



SNS をやっているのは、若い子だけでしょ？

確かに 10 代、20 代の利用は多いです。しかし、全年代で利用者数は右肩上がりです。なるべく早く始めて、先行者利益を取りたいところです。

また、採用活動では、20 代を採用したい場合も多いかと思えます。若い子がどこにいるのかわかるのですから、こんなに良いことはありません。採用活動の為に SNS を始めても良いのではないのでしょうか？

【令和2年度】[休日]インターネットの利用項目別の平均利用時間
(全年代・年代別・男女別)

項目	全年代 (N=1,500)	10代 (N=142)	20代 (N=213)	30代 (N=250)	40代 (N=326)	50代 (N=207)	60代 (N=182)
メールを送信・書く	22.9	14.5	27.0	14.3	24.3	22.4	25.9
ブログやウェブページを見る・書く	27.9	14.6	31.0	34.7	31.8	35.3	14.5
ソーシャルメディアを見る・書く	44.2	85.4	110.8	43.8	28.2	22.5	14.3
動画配信・共有サービスを見る	58.0	151.8	115.9	58.4	42.7	33.9	19.2
VODを見る	17.9	26.6	30.9	20.6	14.8	16.2	5.6
オンラインゲーム・ソーシャルゲームをする	26.8	62.0	45.5	27.8	26.1	18.4	5.9
ネット通話を使う	2.8	6.7	4.3	2.7	1.3	2.0	1.4

毎日更新するなんて無理

SNS という、毎日更新しなければ駄目とか、定期的に更新しなければ駄目という先入観がありますが、必ずしもそうではありません。SNS を一つのメディアとして捉えてください。テレビと一緒に。個人のインフルエンサーは、人気ドラマです。その人達がたくさん人を集めてくれます。そこに御社 CM を流しましょう。ビジネスとしての SNS 運用ですので費用対効果が合えば OK です。毎日投稿する手間よりも、広告を運用し、ホームページや LP に誘導して、そこで問い合わせをしてもらえればよいのではないのでしょうか？もちろん、SNS 上からも問い合わせを受け付けることができます。

地道な努力は必要

では SNS をやればすぐに効果がでるのか？と聞かれると、「はい」とはお答えできません。

通常の投稿であれば、内容やタグの設定等、色々テストが必要です。広告運用でも、デザインやオファーについてテストが必要です。広告をお勧めするのはテスト結果が早く出るから。長期間 SNS に投稿を続けて効果があるかどうかわからないよりも、広告でテストした方が企業にとってコストは少なく済みます。

構え、打て、狙う

拳銃は構えて狙って打ちますが、ネットは「打って(売って)」狙った方が良いです。取り敢えずざっくり方向性を決めてやってみる。やってみると良い点悪い点が見えます。そこから改善を続けていくしかありません。完璧な SNS の運用方法なんてそもそもないのですから。



心に響いた言葉

今回は、御存知の方も多いかもかもしれませんが、昨年末 F1 で 30 年ぶりの優勝を果たし、新春のニューイヤー駅伝にて創部 51 年目で初優勝を飾るなど快挙続きの Honda(ホンダ)の創業者、本田宗一郎氏の言葉です。

三つの喜び

私は吾が社のモットーとして「三つの喜び」を掲げている。即ち三つの喜びとは、造つて喜び、売つて喜び、買つて喜ぶという三つである。

第1の造る喜びとは、技術者のみに与えられた喜びであつて、造物主がその無限に豊富な創作欲によつて宇宙自然の万物を作つたように、技術者がその独自のアイデアによつて、文化社会に貢献する製品を作り出すことは何物にも替え難い喜びである。然もその製品が優れたもので社会に歓迎される時、技術者の喜びは絶対無上である。技術者の一人である私は斯様な製品を作ることを常に念願として努力している。

第2の喜びは、製品の販売に当る者の喜びである。吾が社はメーカーである。吾が社で作つた製品は代理店や販売店各位の協力と努力によつて、需要者各位の手に渡るのである。この場合に、その製品の品質性能が優秀で、価格が低廉である時、販売に尽力される方々に喜んで頂けることはいうまでも無い。良くて安い品は必ず迎えられる。よく売れるところに利潤もあり、その品を扱う誇りがあり、喜びがある。売る人に喜ばれないような製品を作る者は、メーカーとして失格者である。

第3の喜び、即ち買った人の喜びこそ、最も公平な製品の価値を決定するものである。製品の価値を最も良く知り、最後の審判を与えるものは、メーカーでもなければ、ディーラーでもない。日常製品を使用する購買者その人である。「ああ、この品を買つてよかつた」という喜びこそ、製品の価値の上に置かれた栄冠である。私は吾が社の製品の価値は、製品そのものが宣

伝してくれるとひそかに自負しているが、これは買つて下さつた方に喜んで頂けることを信じているからである。

3つの喜び、これは吾が社のモットーである。私は全力を傾けてこの実現に努力している。

(1951. S26. 12 月報 本田宗一郎)

私は特に、2つ目の「売る喜び」が好きです。1と3はよく言われていることですが、売る人が自信と誇りをもって、正直に心からお勧めできるモノを扱うことは非常に重要だと考えています。自社の商品やサービスでも、他社の商品やサービスにせよ、本当にお客様の役に立つと思つたモノだけを提供していきます。

あ・と・が・き

- 年末に痛風になり、注射で痛みを抑えたのに、お屠蘇をいただいたら激痛が・・・馬鹿ですね。
- 次女の受験が大詰めです。「二月の勝者」というドラマの主題歌を聞きながら、塾に送迎する毎日です。ドラマの中で言われている、受験は「父親の経済力と母親の狂気」という言葉でやる気を出しています。
- 小さな社会貢献として「子供が売られない世界をつくる かものはしプロジェクト」に寄付継続中です。



代表者プロフィール

木村太一 (Kimura Taichi)

1979年8月9日生まれ 東京都日野市出身

日本大学第二高等学校 卒業

日本映画学校(現日本映画大学) 卒業

家族構成: 妻と娘3人

趣味: ゴルフ 筋トレ

・東京稲城ロータリークラブ 会員

・カッコいい資格はもってません。正直、元気、やる気、親身が取り柄です。

出版・編集

ドットワン合同会社

電話 :042-519-6960 / FAX:042-533-5421

〒196-0001 東京都昭島市美堀町 5-16-22-302

URL: <https://dot1.tv> e-mail: info@dot1.tv

配信停止について

このニュースレターでは、すぐに役に立つ情報アドバイスを提供していますが、本ニュースレターがご不要な場合は上記連絡先まで、ご連絡ください。

免責事項

このニュースレターでは、すぐに役に立つ情報アドバイスを提供していますが、本ニュースレターで提供された情報、およびアドバイスによって発生した問題に関しましては一切、当方やライターに責任や義務は生じません。読者はここでの情報を参考に下した判断や行動は、全て各人自身の責任となります。